

そろばんは頭をよくする魔法の道具。

Let's soroban

9 月も中旬を過ぎ終盤に入りつつありますが、依然日中はド暑い日々が続いており、もしかすると今年はこのまま秋はやって来ないのでは?という錯覚に陥ってしまいそう…。

よろしく願います

さて、先日高見教室で自転車のカギがイタズラで抜き取られてしまい、そのままカギが紛失してしまうトラブルが発生しました。もちろんイタズラをするほうが100%悪いのですが、今後同じような事態を避けるためにも、自転車のカギは必ずロックするようにしましょう。自転車通学の生徒は忘れずをお願いします!



## そろばん日本一へ 密着!子どもたちの熱い夏

8 月下旬、NHK で「小学生そろばん日本一」に挑む子どもたちの様子を特集、番組内ではそろばんに関することがいろいろと取り上げられていました。

毎年 8 月 8 日 (そろばんの日) に日本一を決める大会が京都で開催されていますが、今年は全国から 666 人が参加、最年長 74 歳、一番下の年齢は何と 5 歳、幅広い年代の人たちが参加。



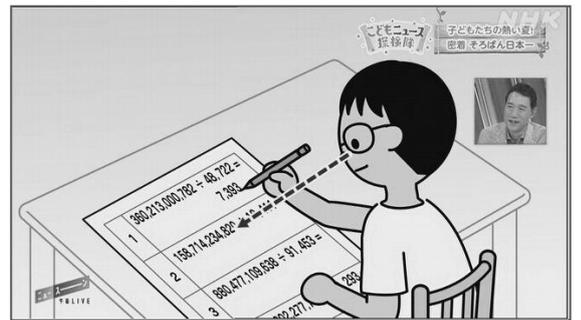
昨年、東京大学と大手教育研究所が行ったリサーチによると、習い事をしている小学生 6219 人のうち、そろばんを習っているのは全体の 9%、運動系を除いた習い事ランキングでは第 4 位。デジタル化が進んでいる現代社会の中でそろばんが人気な理由は…

\*子どもの数字嫌いをなくし、集中力や忍耐力を養いたいと考える保護者が増えている

\*新型コロナをきっかけに、そろばんに関するアプリ、タブレット

教材が急速に広がり、ゲーム感覚で楽しめるようになった…ことなどがあるもよう。

番組の中では、沖縄県の小学 6 年生の男の子が 3 ケタ 15 口のフラッシュ暗算を 1.7 秒間であっさり正解してビックリ!お兄ちゃんたちの影響で 5 歳からそろばんを始め、お兄ちゃんに追いつきたいという気持ちから 1 日 5 時間、毎日練習をしたとの話し。もう一人、千葉県の 6 年男子も 5 歳からそろばんを始め、12 ケタ ÷ 5 ケタの割り算問題をとんでもない猛スピードで暗算。早く出来る理由として「答えを書いている途中に次に問題の計算を始める」と説明。ふたりの全国大会の結果は、それぞれ全国 2 位と 3 位という結果に。



またそろばんの人気は海外でも広がりを見せており、アメリカでは算数の授業にそろばんが使われている小学校があるが、どうして海外でも人気なのか?

全国珠算教育連盟によると「20 年前までは主にアジアやアメリカなど一部の国だけで学習されていましたが、今ではヨーロッパやアフリカ、中東などにも広がり、およそ 100 の国や地域で学習されるようになりました。海外で広まったのは、十進法による位取りが目に見えてわかりやすいことや、そろばんの珠を頭の中にイメージする『そろばん式暗算』が右脳の活性化を促してくれることなどが理由としてあげられます」とのこと。

\*番組を視聴していると文字通り「頭脳の格闘技」というフレーズがピタッとハマる感じで、二人の小学生が競技に全身全霊をかけている様子は単なる習い事というレベルを超えまるでスポーツの真剣勝負のような印象。一つのことごとに集中し続けることは、そろばんの他にも様々あるでしょうが、年齢や性別、体力差、国籍などを飛び越えてその場にいる全員が同じルールでせえ~のっ!でスタートできる競技という点では、そろばんはやはりオンリーワンというか、とてもユニークな能力・脳力開発ツールと言えるかもしれません。